

別 紙

第60回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 4 分科会	演題番号	4 0 1
題 名	プラスチック材料の実験室内海洋生分解度評価方法の改良		
所 属	環境衛生科学研究所		
氏 名	○神谷 貴文、綿野 哲寛、瀧井 美樹		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>海洋プラスチック問題の対策として生分解性プラスチックの活用が注目されているが、海洋での生分解が確認されている素材は少ない。また、海底砂泥面におけるプラスチック材料の生分解度を評価する室内試験方法（例えばISO 19679）は、得られる生分解度のデータがばらつき、結果の信頼性が確保できないという問題が認識されている。</p> <p>現在、環境衛生科学研究所では、県内（三保、浜名湖、弓ヶ浜）の海水、海底砂泥を用いた海洋生分解度評価試験を実施しており、プラスチック生分解度のばらつきに影響を与える因子（栄養塩類、菌数・菌叢等）を明確にし、結果の再現性を良くするための前処理方法の改良等に取り組んでいる。本発表では、浜名湖で採取した海底砂泥の前処理による試験結果の安定性への影響について報告する。なお本研究は、NEDOプロジェクト「海洋生分解性プラスチックの社会実装に向けた技術開発事業／海洋生分解性に係る評価手法の確立（2020年度～2024年度）」において実施するものである。</p>		